



1/2 成人式で、できるようになったこと、将来の夢を一人ずつ発表した4年生



真新しい制服で修了証書を受け取った6年生

それぞれ立派に迎えた成長の節目

4年生 1/2 成人式、6年生修了式

信濃小中学校では、成長の節目に行事を行っています。2月22日は10歳になった4年生78人の「1/2 成人式」が行われ、保護者を前に一人ずつ、成長してできるようになったこと、親への感謝、そして将来の夢を発表しました。また、3月18日には6年生の修了式が行われました。小学校の卒業式が無いので、その代わりとなる行事です。新しい制服に初めて袖を通した76人の6年生たちは、峯村校長から修了証書を手渡され、7年生になるにあたっての抱負を述べて決意を新たにしていました。



修了式での6年生の合唱



4年生が習字で書いた将来の夢

4月からピカピカの1年生!

柏原保育園卒園式

3月21日、柏原保育園で卒園式が行われ、32名が卒園しました。園児たちは、松木町長から渡された卒園証書を手にお母さんの許へ行き、「いつもお迎えありがとう」、「育ててくれてありがとう」と、感謝の気持ちを伝えました。続いてお別れの歌を歌った卒園児たちの歌声に、参列した保護者の皆さんは、我が子のこれまでの成長を思い出し目を潤ませていました。町内4保育園の卒園児は合計76人。4月からはみんなそろって信濃小中学校の1年生です。



自主・友愛・克己・躍進を胸に

信濃小中学校第1回卒業証書授与式

3月19日、信濃小中学校の第1回卒業証書授与式が行われ、最初の卒業生80名に卒業証書が手渡されました。「仲間や先生方と過ごした時間が、こんなに大切だと思うこと、本当に幸せに思います。「自主」「友愛」「克己」「躍進」これらの言葉を自分の宝として、一步一步自分の道を歩いていきます！」卒業生たちはそう力強く宣言して、巣立っていきました。開校1年目の最高学年を任された卒業生たち。大役を果たして卒業していくその姿は、とても大人びて見えました。

町の消防体制に新戦力が加入

消防信濃町分署に新しいタンク車配備

2月25日、鳥居川消防署信濃町分署に、新しい消防タンク車が配備され、佐藤副町長ほか、消防関係者が招かれて、引渡式が開催されました。新しいタンク車は5.5tクラスで、泡で消火する圧縮空気泡吐出装置(CAFS)を搭載するほか、救助用のマルチツール、マット型空気ジャッキ、油圧スプレッターなども搭載しています。万が一の際に町の防災の最前線に立つ信濃町分署の新戦力。活躍が期待されます。



みんなが利用したくなる鉄道へ

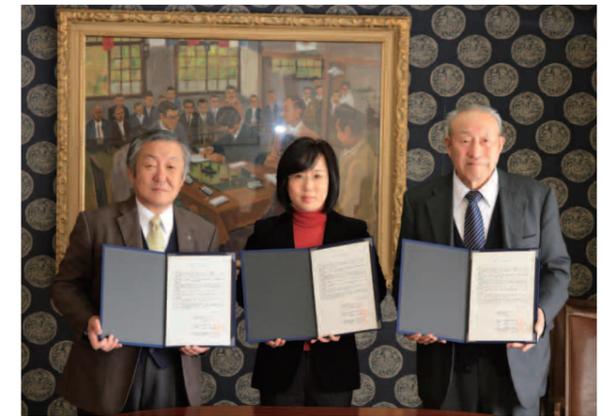
鉄道利用促進シンポジウム

2月24日、飯綱町民会館で、信濃町・飯綱町共催の「鉄道利用促進シンポジウム」が開催され、約100人が参加しました。信越本線の並行在来線化に向けて、「貴志川線の未来をつくる」会代表の濱口晃夫氏から先進事例をうかがいました。その後の、しなの鉄道、地元代表者らによるパネルディスカッションでは、事業者・地元・行政の連携や、地域の魅力の掘り起こしが必要と、活発に議論が交わされました。

子どもの自己肯定感を大切に

子育て中の母親の方に「こころの子育て講座」

3月1日、総合会館で、子育て中の母親の方を対象に「こころの子育て講座」が開催され、母子合わせて52人が参加しました。講師に長野市の晴海助産院田中春海助産師を迎え、母自身の出産育児の振り返りを行いました。講師からは、「子どもに安心感を与えてあげるには、母自身がほめられ、こころが安定していることが大切。日頃の子育てを振り返り、がんばってきた自分をほめよう」というお話がありました。また絵本やわらべ歌の紹介、栄養士による手作りおやつもあり、参加者からは大変好評を得ました。



合計26例目の癒しの森協定

㈱旅ピアと癒しの森協定を締結

3月11日、日本と韓国の間の旅行を主に取り扱う㈱旅ピアとの間に、26例目となる癒しの森協定を締結しました。同社は、平成23年9月に癒しの森協定を締結した韓国の翰林聖心(ハンリンソンシン)大学との橋渡しを担っており、森林セラピーガイド養成に携わる同大学の学生の研修地として、日本の森林セラピー先進地である信濃町を利用していただいています。今後も韓国から信濃町への誘客を進めるため、今回協定を締結することとなりました。